模擬授業に取り組む参加者

第 13 回全国合気道指導者研修会

合気道指導法を集中的に学ぶ３日間
未経験の参加者も模擬授業に挑戦

第 13 回全国合気道指導者研修会（主催＝日本武道館、合気会、後援＝スポーツ庁）が 10 月 31～11 月 2 日の日程で開催され、会場の日本武道館研修センターには全国の小学校、中学校、高校の教員及び各都道府県の合気道指導者、教職員志望の大学生など 55 名の参加者が集まった。

本研修会は学校における合気道指導の充実を目的としており、2 日目には教師役 1 名、それ以外の参加者が生徒役となって模擬授業を実施した。研修会で初めて合気道を経験した 2 名も教師役に挑戦し、未経験とは思えぬ見事な授業を展開した。

◇実施内容

１日目：講義・実技（植芝充央）
「基本技の稽古（連盟代表者）」（植芝充央）
「中学校指導法（教員）」（日野皓正）
講義「指導者が注意しておきたいこと」（前川直也）

２日目：中学校合気道指導法①「礼法・構え、後ろ受身、角落し、小手返し」（桑原將太）
中学校合気道指導法②「座技呼吸法、四方投げ裏」（梅津翔）
全国指導者研修①（尾﨑晌）
講義「主体的な学びを促すアプローチ」（園部豊）
「中学校合気道指導法について」（日野皓正）
模擬授業（佐藤貴、梅津翔、中村仁美）

３日目：全国指導者研修②学校授業の事例報告（林典夫）

◇講師一覧

・特別講師

植芝充央（合気道本部道場長、公益財団法人合気会専務理事）

・講師

前川　直也（国際武道大学　体育学部武道学科教授）

園部　　豊（帝京平成大学　人文社会学部経営学科准教授）

佐藤　　貴（東京都立農産高等学校　保健体育科主任教諭）

尾﨑　　晌（全日本合気道連盟　相談役）

林　　典夫（公益財団法人合気会常務理事　全日本合気道連盟常任理事）

日野　皓正（公益財団法人合気会学校武道担当　合気道本部道場指導部師範）

梅津　　翔（公益財団法人合気会学校武道担当　合気道本部道場指導部師範）

・助講師

桑原　将太（公益財団法人合気会　合気道本部道場指導部指導員）

中村　仁美（公益財団法人合気会　合気道本部道場指導部指導員）

研修会の模様

「基本技の稽古」（連盟代表者）
植芝講師による示範

「中学校指導法」（教員）
小手返しを練習する

講義「指導者が注意しておきたいこと」
ハラスメントなく指導する方法を話し合う

中学校合気道指導法①
背中が曲がらないように意識して
正しい座礼の仕方を実習

中学校合気道指導法②
片膝をついた状態から安全に受身をとる

『全国指導者研修①』
部活動の地域移行をテーマに発表する参加者

講義「主体的な学びを促すアプローチ」
参加者各々が考える生徒の主体的な
学びを促す方法をまとめる

「中学校合気道指導法について」
「無理に関節を極めないように」と日野講師

「模擬授業」
手押し相撲でバランスが崩れる感覚を確認

「模擬授業」
座技呼吸法で合気道“らしい”動きを体感

「全国指導研修②」学校授業の事例報告
発表者への質疑

閉講式
代表者に修了証を授与

令和７年度参加者感想（抜粋）

第 13 回全国合気道指導者研修会に参加し、改めて合気道の深遠な理念を学びました。単なる技術伝達に留まらない人間形成の道を追求する重要性を再認識しました。初歩から丁寧な指導を受け、実技では「和」の動きを体感的に学びました。多様な経歴を持つ参加者との交流では各道場での工夫や情熱に触れ、自身の指導法を考える貴重な機会となりました。

合気道の経験はなく、研修で初めて体験しました。３日間の研修を通して、技を分解し、動きの意味を一つひとつ丁寧に教えていただけたことで、自分でも技をかけたり受けたりすることができたことがとても嬉しかったです。また、相手と息を合わせて技を完成させていく感じがとても楽しかったです。合気道に触れた中で感じた魅力は、技の完成体の構造を理解してバランスを崩す動きができれば、大きな力を使わずとも相手の動きを制することができるということでした。

今回の研修で合気道の技術的な面はもちろん、指導者が注意すべきことやアプローチの仕方なども体系的に定められていることを知った。合気道は道場によって技の教え方も異なり、私自身も感覚的にやってきた部分が大きいので指導には不安を感じていたが、マニュアルなどを活用すれば安心して取り組めそうだと感じた。

将来合気道を指導する可能性があること、また現在大学院生として人間の「わざ」に関する哲学的研究をしていることから、今後に役立つ何かを学びたいと思い参加しました。学校教育という場において、合気道を指導するにあたり注意すべきこと、意識的に行うべきことなどを本当に細かく教えていただき、非常に勉強になりました。何より、全国各地で指導にあたられている先生方や同世代の仲間と知り合うことができ、合気道を通したヨコの繋がりを新たにつくれて嬉しかったです。